

第3章

要支援者の調査結果

(介護予防・日常生活支援ニーズ調査)

第3章 要支援者の調査結果

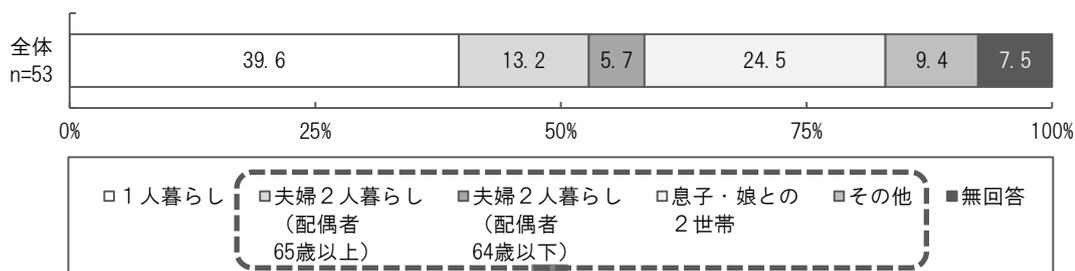
1 家族構成や生活状況について

(1) 家族構成及び昼間独居者の状況

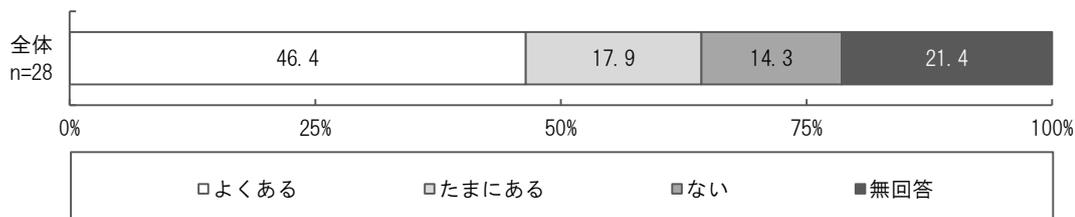
○家族構成をみると、「1人暮らし」(39.6%)が最も高く、次いで「息子・娘との2世帯」(24.5%)、「夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)」(13.2%)となっています。

○日中に1人になることが「よくある」または「たまにある」方は64.3%となっています。

問1-(1) 家族構成



問1-(1).① 日中、1人になることがあるか



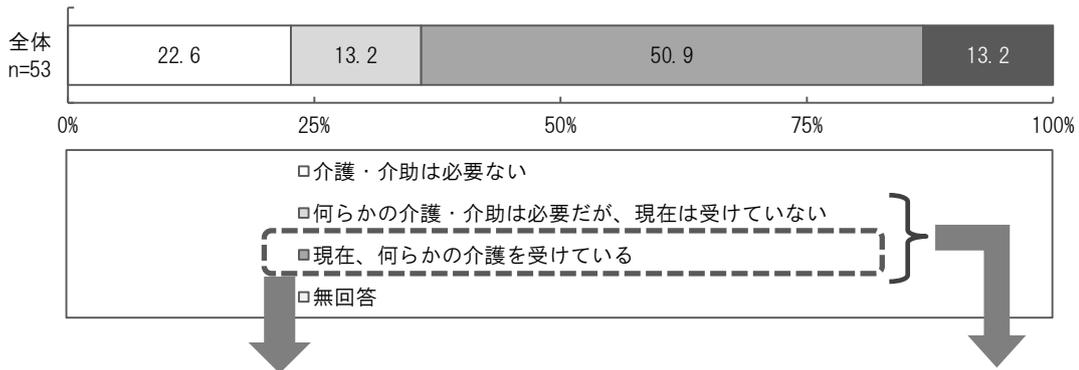
(2) 日常生活における介護（介助）の状況

○普段の生活での介護・介助の状況をみると、「現在、何らかの介護を受けている」(50.9%)が最も高くなっています。

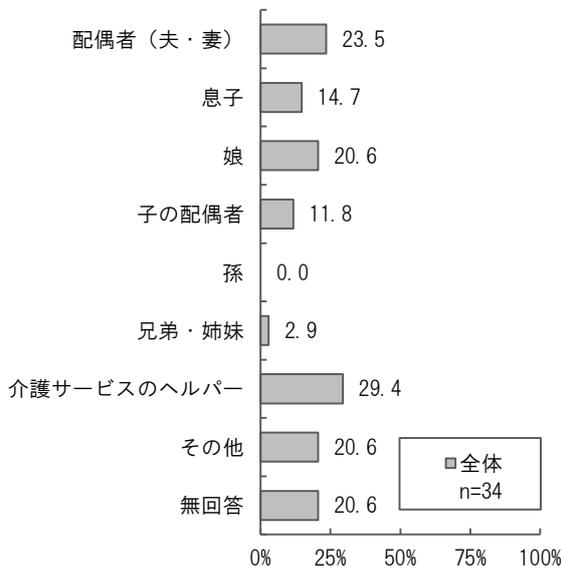
○介護、介助をしてくれる人は、「介護サービスのヘルパー」(29.4%)が最も高く、次いで「配偶者（夫・妻）」(23.5%)、「娘」(20.6%)となっています。

○介護・介助が必要になった主な原因をみると、「高齢による衰弱」(29.4%)が最も高く、次いで「心臓病」「関節の病気（リウマチ等）」(各17.6%)となっています。

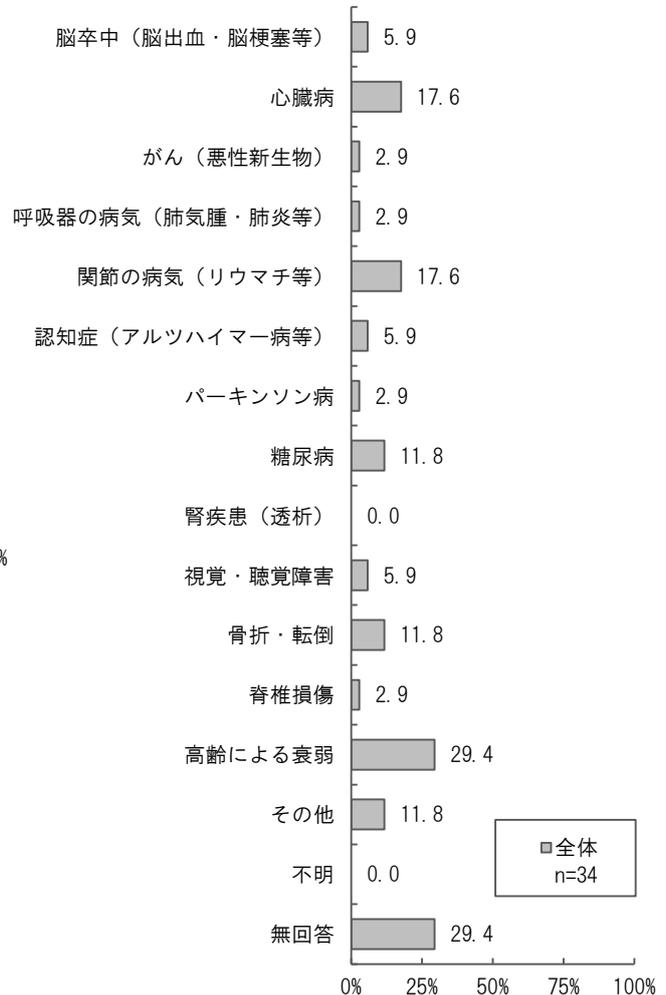
問1-(2) 普段の生活で介護・介助が必要か



問1-(2).② 介護・介助をしてくれる人



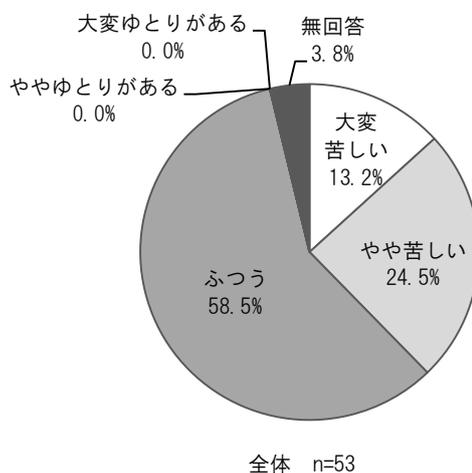
問1-(2).① 介護・介助が必要になった主な原因



(3) 現在の経済状況

○現在の暮らしの経済的状况をみると、「ふつう」(58.5%)が最も高く、次いで「やや苦しい」(24.5%)、「大変苦しい」(13.2%)となり、ゆとりがあると回答した方はいませんでした。

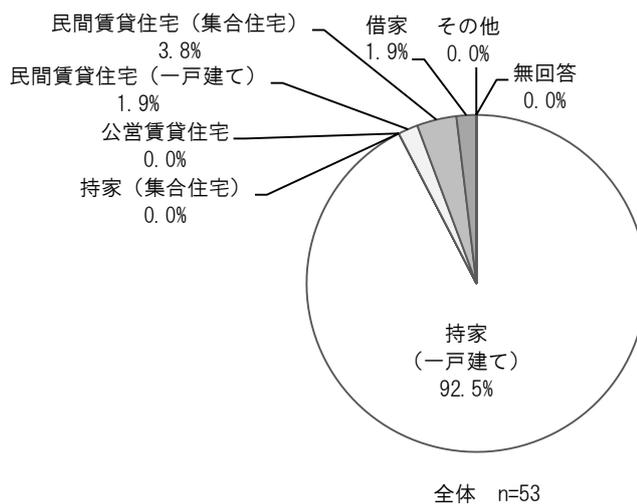
問1-(3) 経済的にみた現在の暮らしの状況



(4) 現在の居住環境

○現在暮らしている家の状況をみると、「持家（一戸建て）」(92.5%)が最も高く、次いで「民間賃貸住宅（集合住宅）」(3.8%)、「民間賃貸住宅（一戸建て）」、「借家」(各1.9%)となっています。

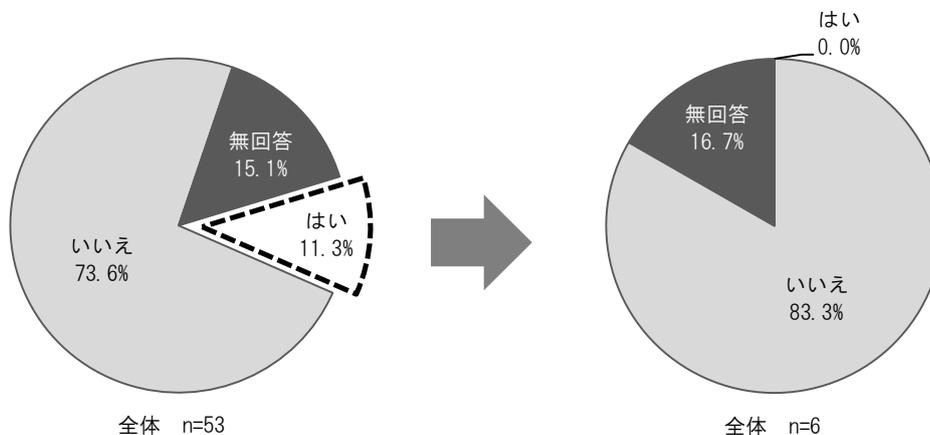
問1-(4) 現在暮らしている家の状況



○2階以上に主な居住環境がある方は11.3%となっています。

○また、2階以上に主な居住環境がある方のうち、エレベーターが設置されていると回答した方はいませんでした。

問1-(5) 2階以上に生活する部屋があるか 問1-(5).① エレベーターが設置されているか



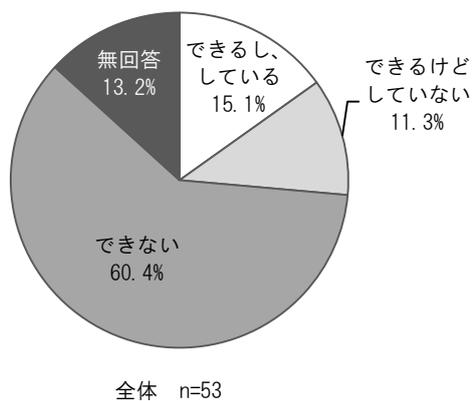
2 からだを動かすことについて

(1) 運動機能の状況

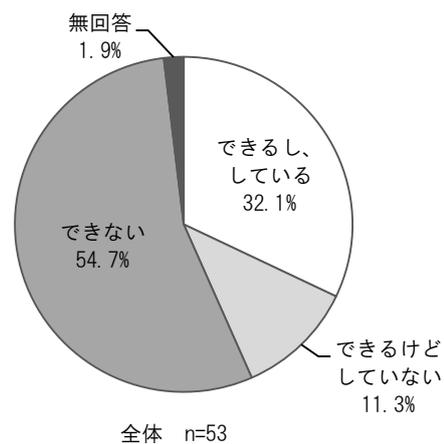
○階段を手すりや壁をつたわずに昇ることができない方は60.4%となっています。

○椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がることができない方は54.7%となっています。

問2-(1) 階段を手すりや壁をつたわずに昇ることができるか



問2-(2) 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がることができるか

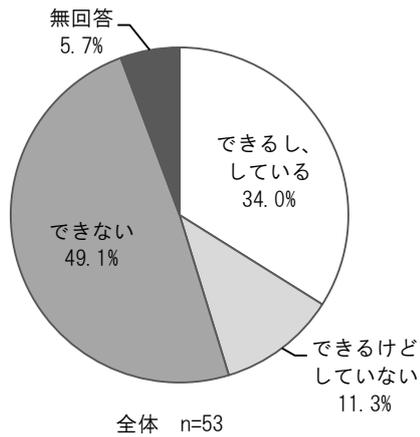


○15分位続けて歩くことができない方は49.1%となっています。

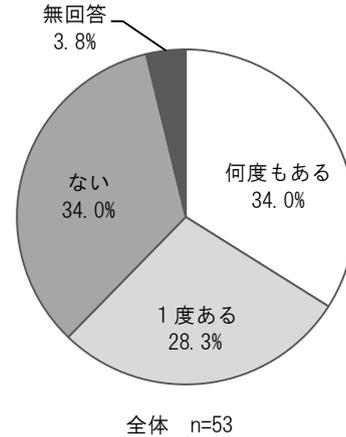
○過去1年間に転んだ経験がある方は、「何度もある」(34.0%)、「1度ある」(28.3%)を合わせた62.3%となっています。

○転倒に対する不安がある方は、「とても不安である」(52.8%)と「やや不安である」(32.1%)を合わせた84.9%となっています。

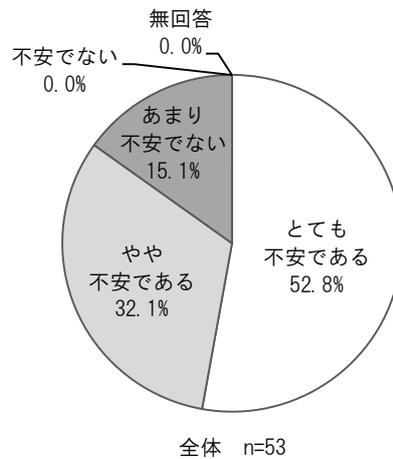
問2-(3) 15分位続けて歩くことができるか



問2-(4) 過去1年間に転んだ経験の有無



問2-(5) 転倒に対して不安はあるか



(2) 外出の状況

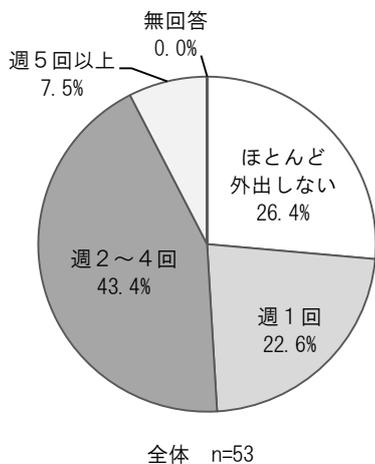
○外出が週に1回以下の方は、「ほとんど外出しない」(26.4%)と「週1回」(22.6%)を合わせた49.0%となっています。

○昨年と比べて外出の頻度が減っている方は、「減っている」(43.4%)と「とても減っている」(15.1%)を合わせた58.5%となっています。

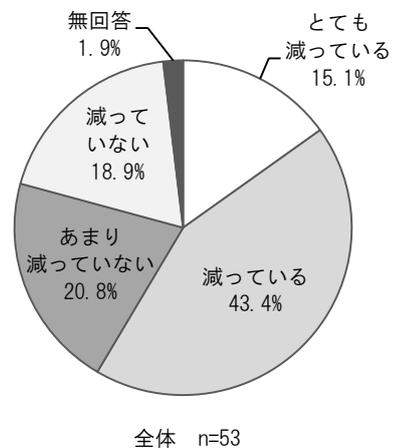
○外出を控えている方は56.6%となっています。

○外出を控えている理由は、「足腰などの痛み」(66.7%)が最も高く、次いで「病気」(30.0%)、「トイレの心配(失禁など)」「交通手段がない」(各26.7%)、「耳の障害(聞こえの問題など)」(23.3%)、「目の障害」(16.7%)となっています。

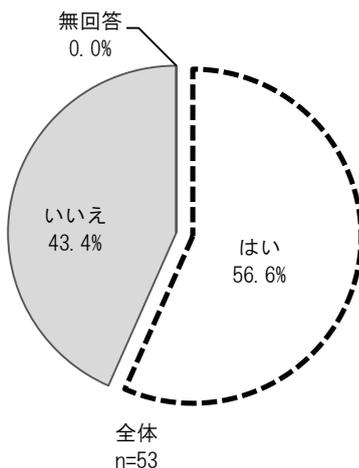
問2-(6) 週当たりの外出頻度



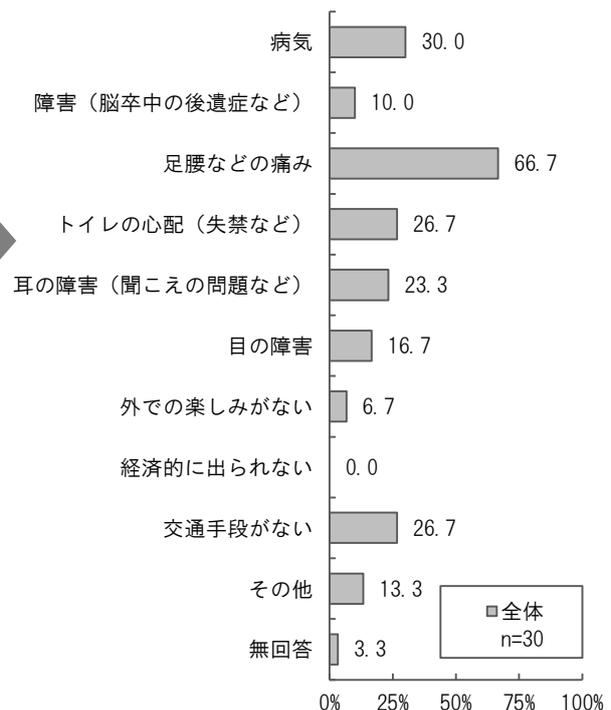
問2-(7) 昨年と比べて外出頻度



問2-(8) 外出を控えているか



問2-(8).① 外出を控えている理由

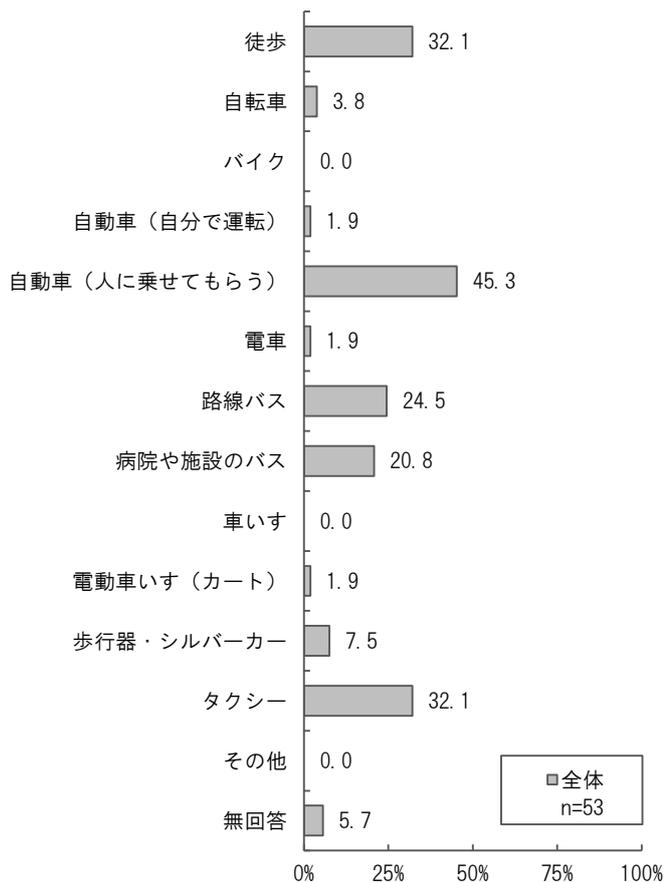


○外出する際の移動手段をみると、「自動車（人に乗せてもらう）」（45.3%）が最も高く、次いで「徒歩」「タクシー」（各32.1%）、「路線バス」（24.5%）となっています。

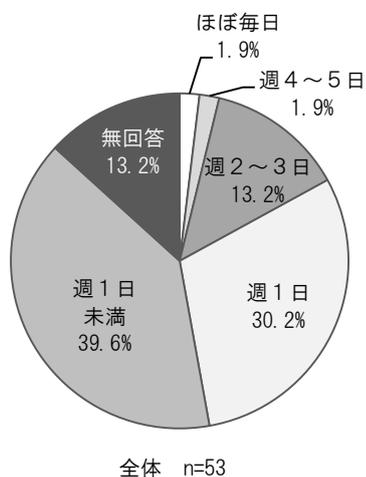
○買い物で外出する頻度をみると、「週1日未満」（39.6%）が最も高く、次いで「週1日」（30.2%）、「週2～3日」（13.2%）となっています。

○散歩で外出する頻度をみると、「週1日未満」（30.2%）が最も高く、次いで「週2～3日」（18.9%）、「ほぼ毎日」「週1日」（各11.3%）となっています。

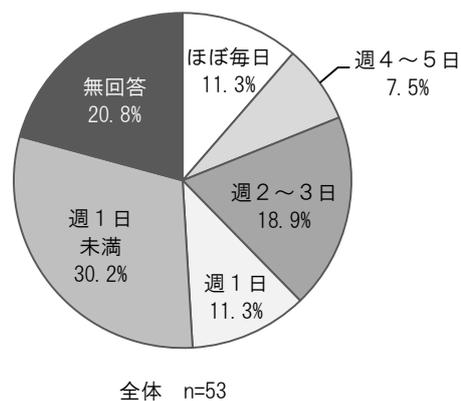
問2-(9) 外出する際の移動手段



問2-(10).① 買い物で外出する頻度



問2-(10).② 散歩で外出する頻度



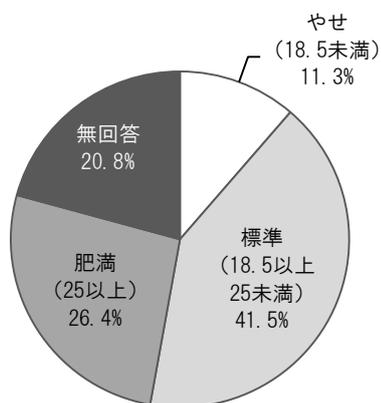
3 食べることについて

(1) 体格指数（BMI）の状況

○BMI指数が「やせ（18.5未満）」の方は11.3%となっています。

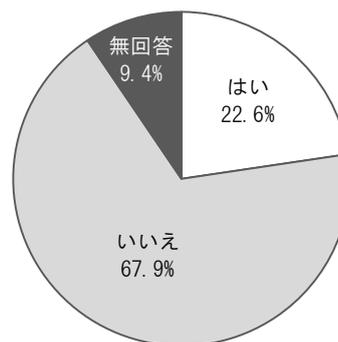
○6か月間で2～3kg以上の体重減少があった方は22.6%となっています。

問3-(1) BMI指数



全体 n=53

問3-(8) 6か月間で2～3kg以上の体重減少があったか



全体 n=53

(2) 歯・口腔の状況

○歯磨きを毎日している方は88.7%となっています。

○歯の数と入れ歯の利用状況をみると、「自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」(50.9%)と「自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用」(7.5%)を合わせた58.4%が入れ歯を利用しています。

○毎日入れ歯の手入れをしている方は93.5%となっています。

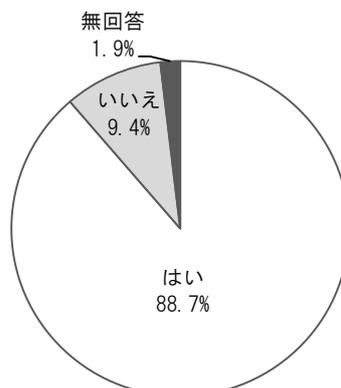
○噛み合わせが悪い方は22.6%となっています。

○半年前に比べて固いものが食べにくい方は58.5%となっています。

○お茶や汁物等でむせることがある方は49.1%となっています。

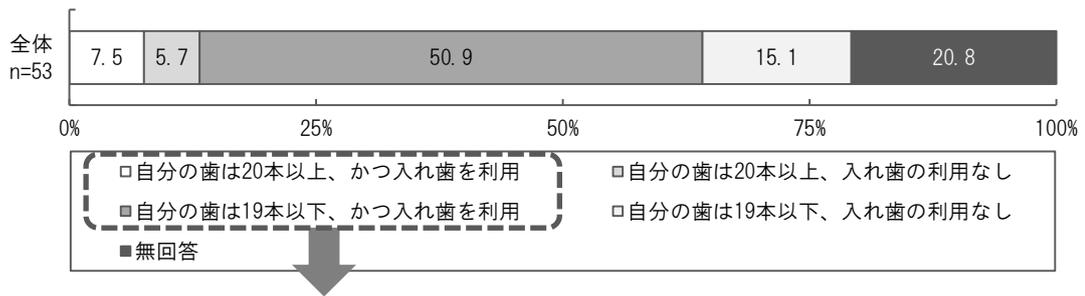
○口の渇きが気になる方は49.1%となっています。

問3-(3) 歯磨きを毎日しているか

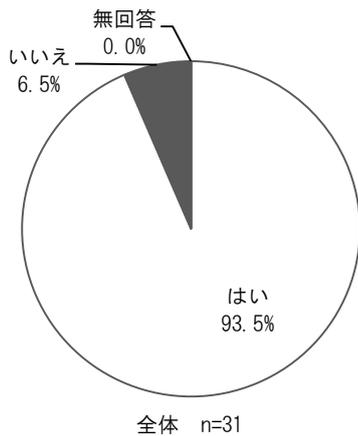


全体 n=53

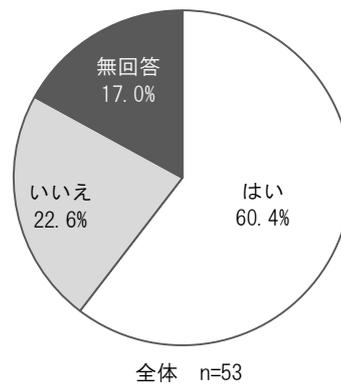
問3-(4) 歯の数と入れ歯の利用状況



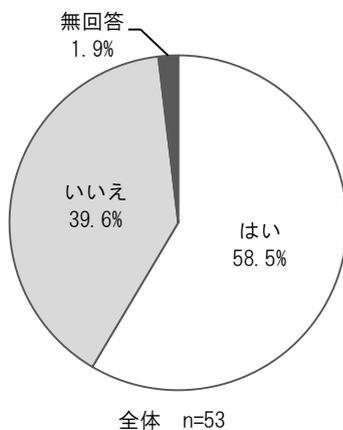
問3-(4).① 毎日入れ歯の手入れをしているか



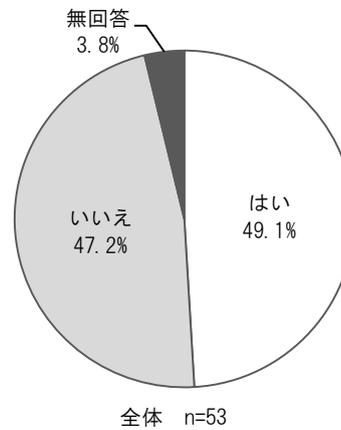
問3-(4).② 噛み合わせは良いか



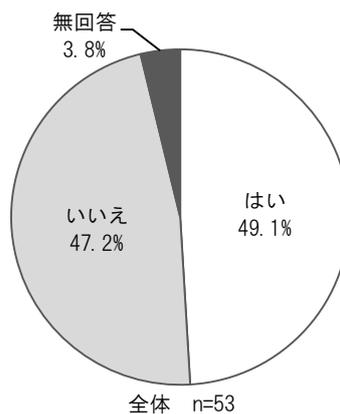
問3-(2) 半年前に比べて固いものが食べにくくなった



問3-(6) お茶や汁物等でむせることがあるか



問3-(7) 口の渇きが気になるか



(3) 食事の状況

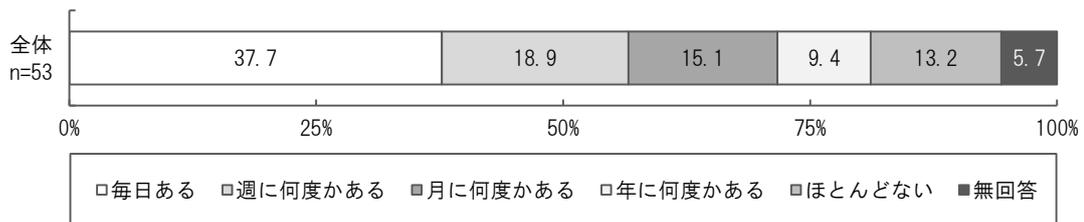
○どなたかと食事をともしる機会は、「毎日ある」(37.7%)が最も高く、次いで「週に何度かある」(18.9%)、「月に何度かある」(15.1%)となっています。一方、「ほとんどない」方は13.2%となっています。

○1日の食事の回数は、「朝昼晩の3食」(84.9%)が最も高くなっています。

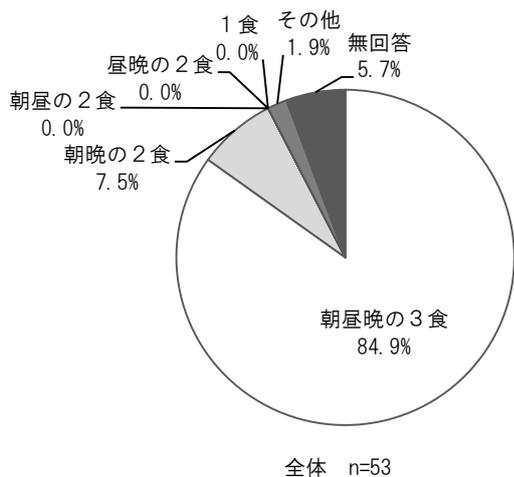
○食事を自分で食べられる方は96.2%となっています。一方、自分で食べることができない方はいないものの、一部介助が必要な方は3.8%となっています。

○家事全般ができない方は37.7%となっています。

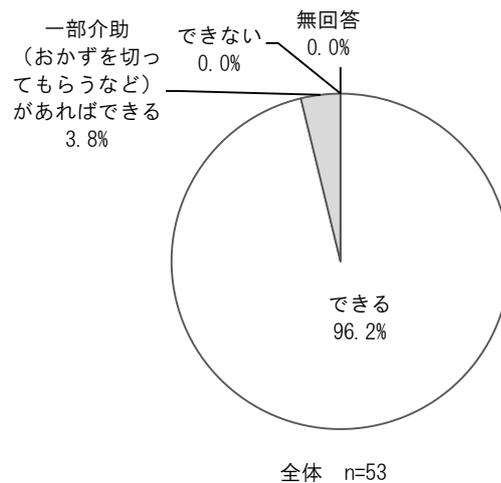
問3-(5) どなたかと食事をともしる機会



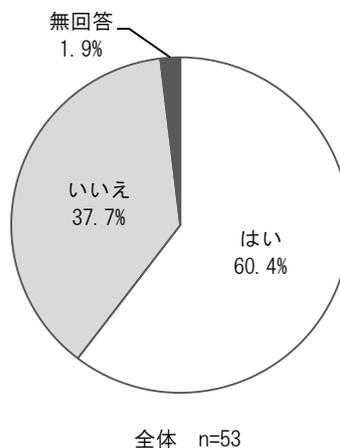
問3-(9) 1日の食事の回数



問4-(22) 食事は自分で食べられるか



問4-(23) 家事全般ができていますか



4 毎日の生活について

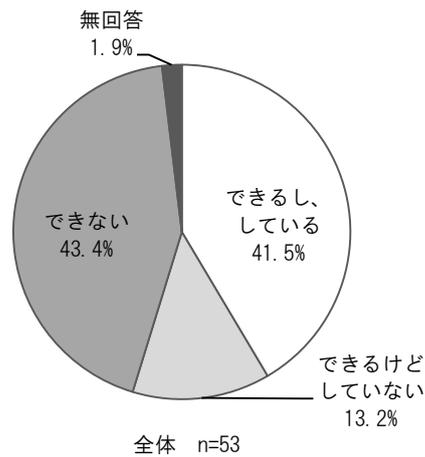
(1) IADL（手段的自立度）の状況

○バスや電車を使って1人で外出できない方は43.4%となっています。

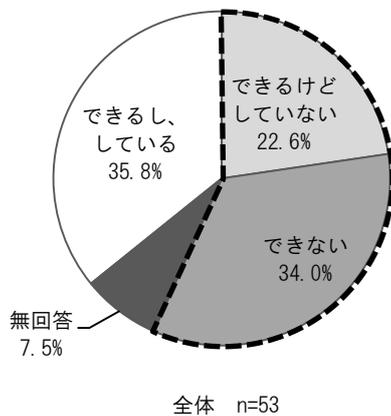
○自分で食品・日用品の買い物ができない方は34.0%となっています。

○食品・日用品の買い物を主にする人は、「同居の家族」(43.3%)が最も高く、次いで「別居の家族」(16.7%)となっています。

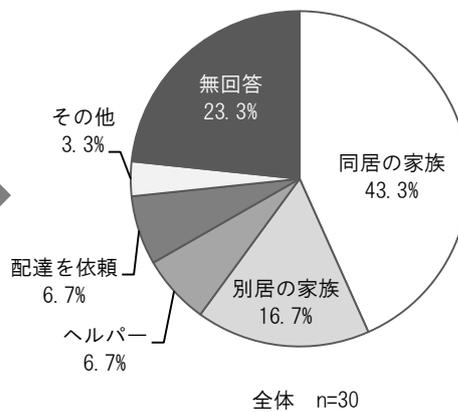
問4-(2) バスや電車を使って1人で外出しているか



問4-(3) 自分で食品・日用品の買い物をしているか

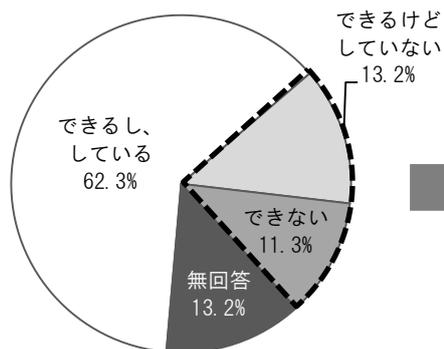


問4-(3).① 食品・日用品の買い物をする人



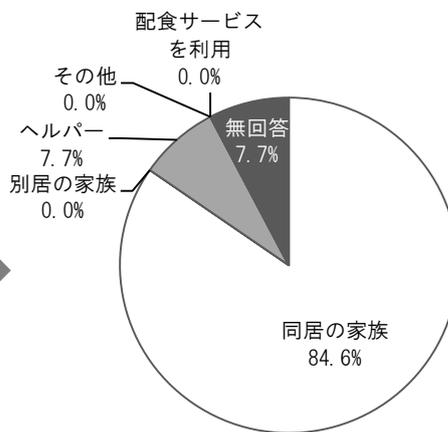
- 自分で食事の用意ができない方は11.3%となっています。
- 食事の用意を主にする人は「同居の家族」が84.6%となっています。
- 自分で請求書の支払いができない方は11.3%となっています。
- 自分で預貯金の出し入れができない方は18.9%となっています。

問4-(4) 自分で食事の用意をしているか



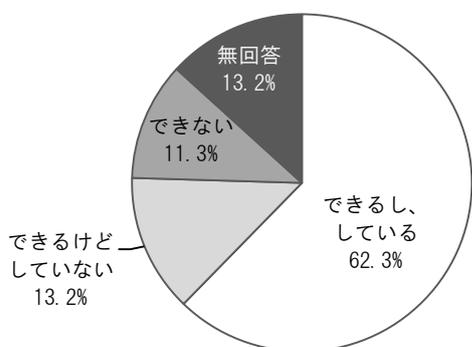
全体 n=53

問4-(4).① 食事の用意をする人



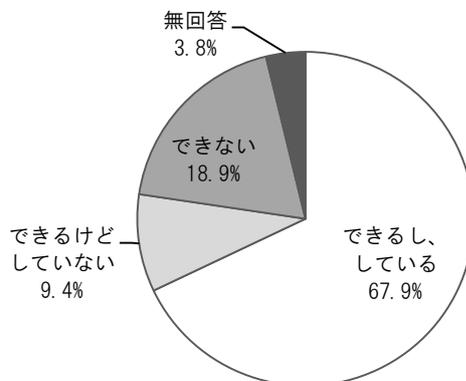
全体 n=13

問4-(5) 自分で請求書の支払いをしているか



全体 n=53

問4-(6) 自分で預貯金の出し入れをしているか



全体 n=53

(2) 社会参加（知的能動性）の状況

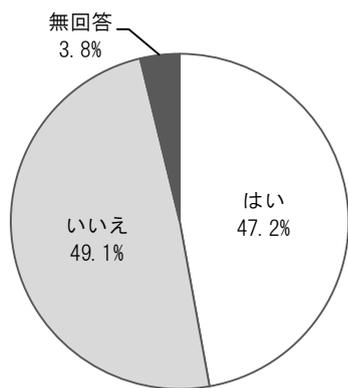
○年金などの書類が書けない方は49.1%となっています。

○新聞を読んでいない方は37.7%となっています。

○本や雑誌を読んでいない方は60.4%となっています。

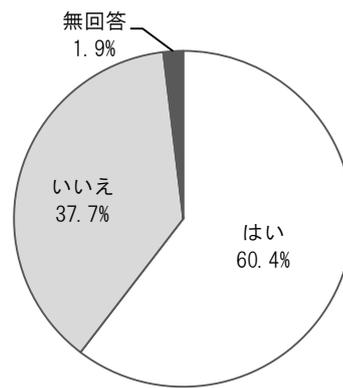
○健康についての記事や番組に関心がない方は26.4%となっています。

問4-(9) 年金などの書類が書けるか



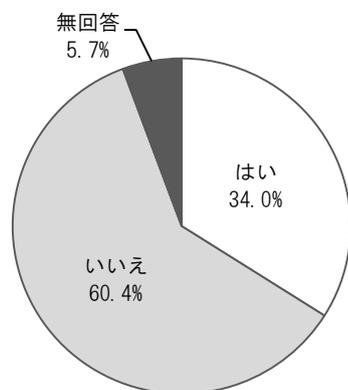
全体 n=53

問4-(10) 新聞を読んでいるか



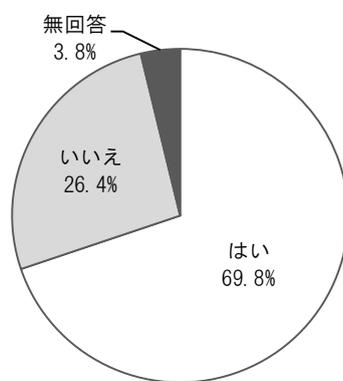
全体 n=53

問4-(11) 本や雑誌を読んでいるか



全体 n=53

問4-(12) 健康についての記事や番組に関心があるか



全体 n=53

(3) 社会参加（社会的役割）の状況

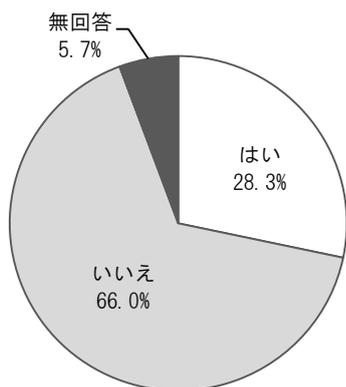
○友人の家を訪ねていない方は66.0%となっています。

○家族や友人の相談にのっていない方は35.8%となっています。

○病人を見舞うことができない方は43.4%となっています。

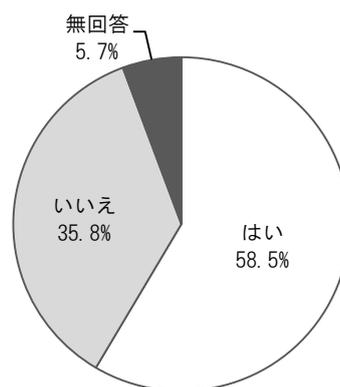
○若い人に自分から話しかけない方は34.0%となっています。

問4-(13) 友人の家を訪ねているか



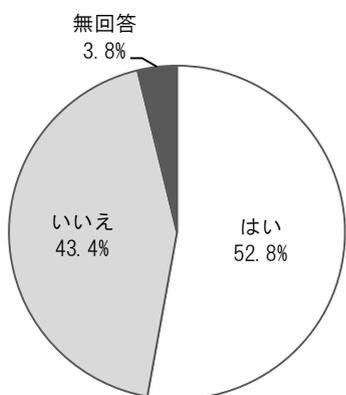
全体 n=53

問4-(14) 家族や友人の相談にのっているか



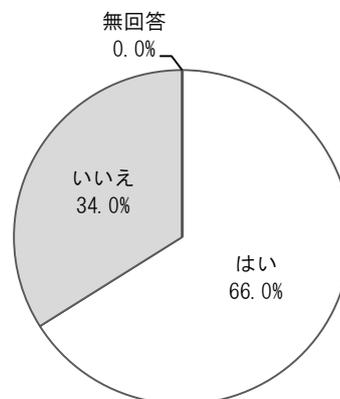
全体 n=53

問4-(15) 病人を見舞うことができるか



全体 n=53

問4-(16) 若い人に自分から話しかけることはあるか



全体 n=53

(4) こころの健康状態

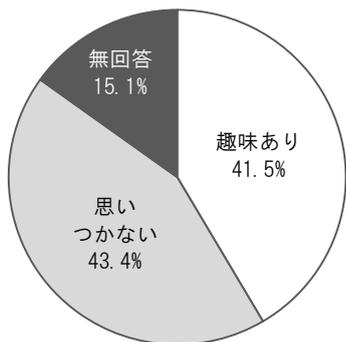
○趣味がある方は41.5%、思いつかない方は43.4%となっています。

○生きがいのある方は50.9%、思いつかない方は41.5%となっています。

○この1か月間、気分が沈んだりすることがある方は56.6%となっています。

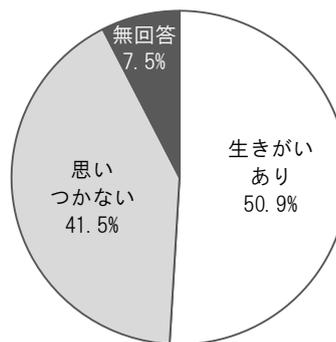
○この1か月間、物事に対して心から楽しめない方は56.6%となっています。

問4-(17) 趣味はあるか



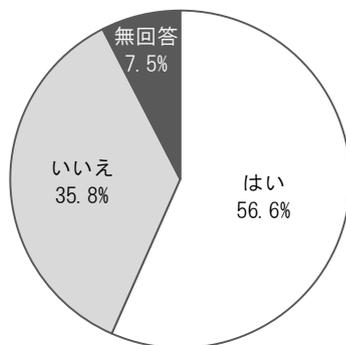
全体 n=53

問4-(18) 生きがいはあるか



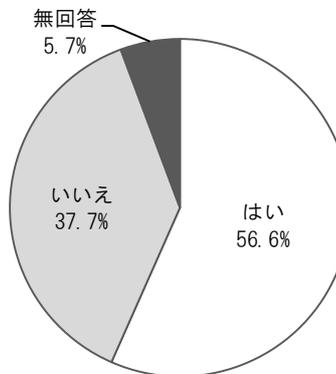
全体 n=53

問7-(3) この1か月間、気分が沈んだりする



全体 n=53

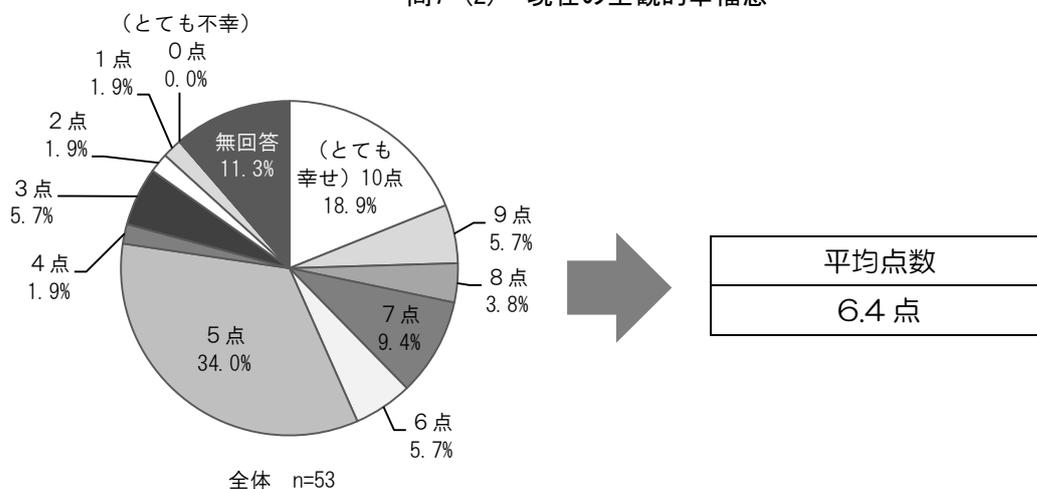
問7-(4) この1か月間、物事に対して心から楽しめない



全体 n=53

○現在の主観的幸福感では、「5点」(34.0%)が最も高く、次いで「(とても幸せ)10点」(18.9%)、「7点」(9.4%)となっています。なお、幸福感の平均点数は6.4点となっています。

問7-(2) 現在の主観的幸福感

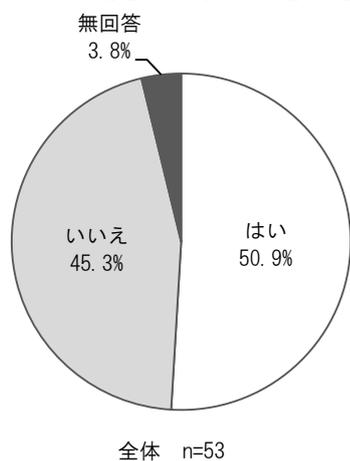


(5) 物忘れの状況

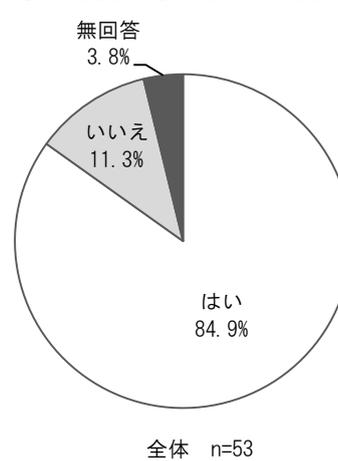
○物忘れが多いと感じる方は50.9%となっています。

○自分で電話番号を調べて電話をかけない方は11.3%となっています。

問4-(1) 物忘れが多いと感じるか



問4-(7) 自分で電話番号を調べて電話をかけるか



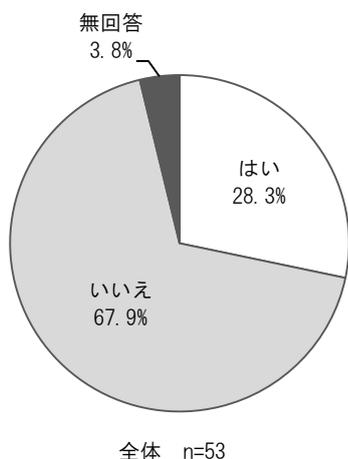
○今日が何月何日かわからない時がある方は28.3%となっています。

○5分前に自分が何をしていたか思い出せない方は17.0%となっています。

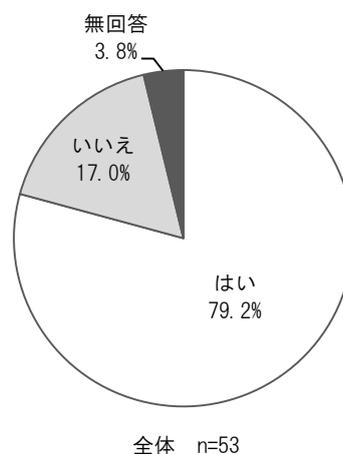
○その日の活動を自分で判断することが「困難なくできる」方は54.7%、一方、「ほとんど判断できない」方はいないものの、「判断するときに、他人からの合図や見守りが必要」な方は3.8%となっています。

○人に自分の考えを「伝えられる」方は52.8%、一方、「ほとんど伝えられない」方はいないものの、「あまり伝えられない」方は5.7%となっています。

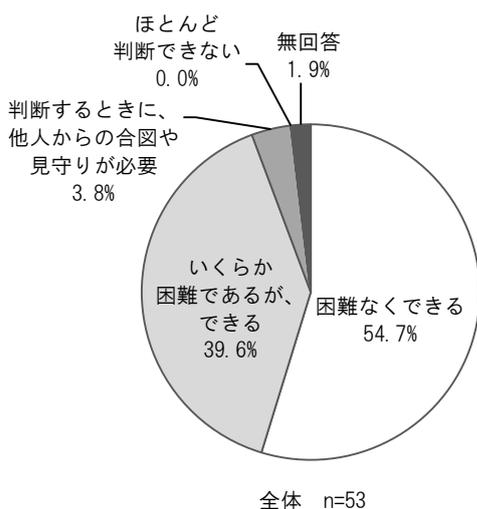
問4-(8) 今日が何月何日かわからない時があるか



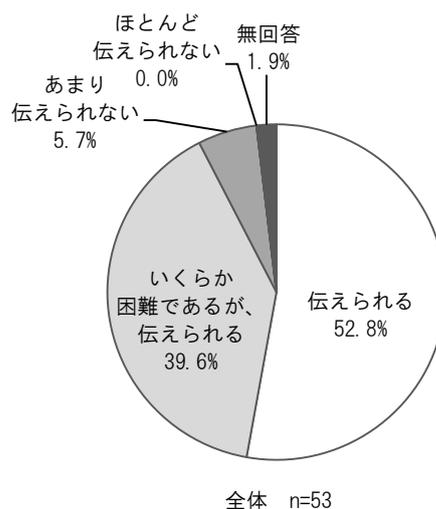
問4-(19) 5分前に自分が何をしていたか思い出せるか



問4-(20) その日の活動を自分で判断できるか



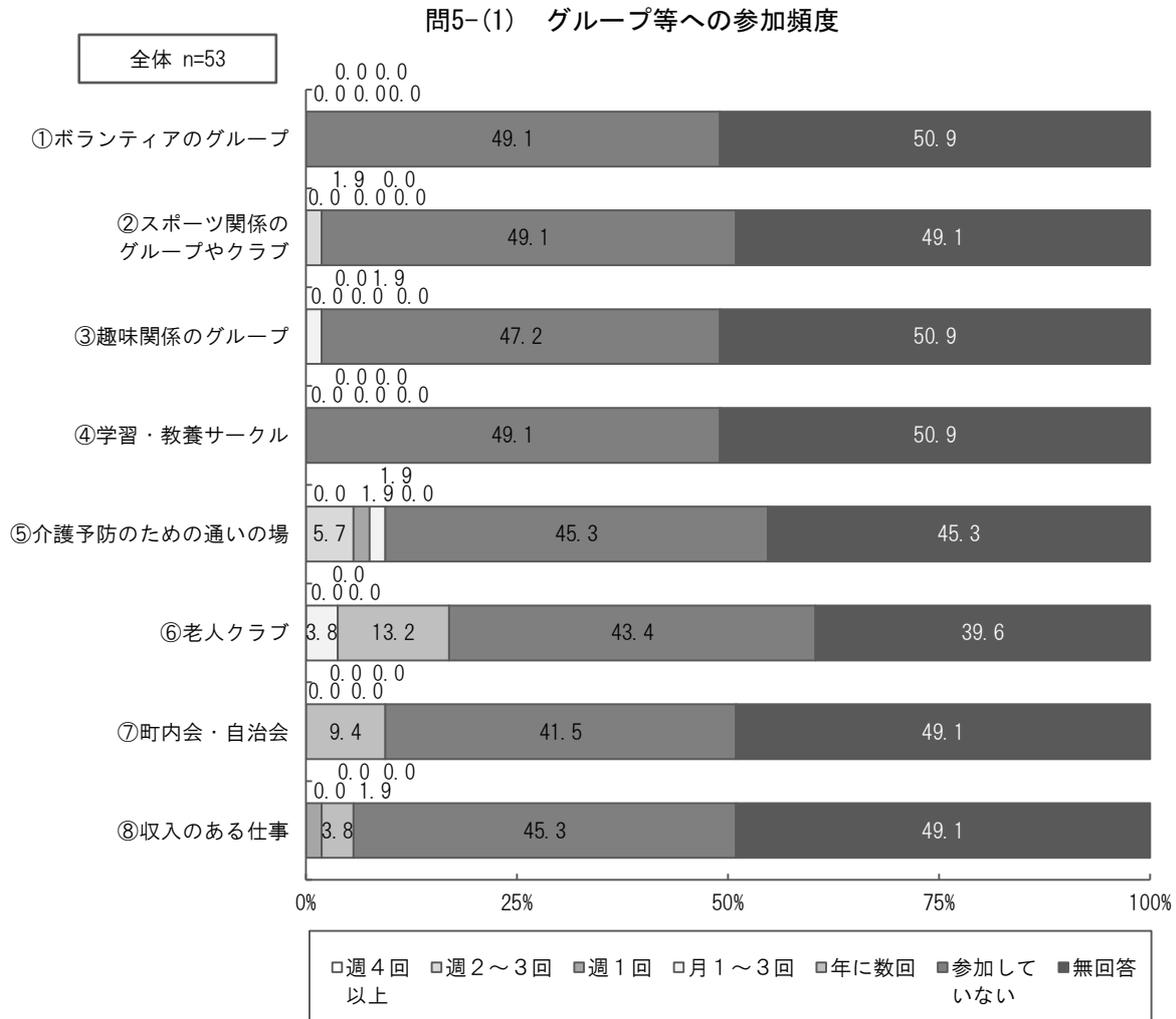
問4-(21) 人に自分の考えをうまく伝えられるか



5 地域での活動について

(1) グループ活動等の状況

○週1回以上参加している会・グループ等をみると、「⑤介護予防のための通いの場」は7.6%、「②スポーツ関係のグループやクラブ」「⑧収入のある仕事」は各1.9%となっています。

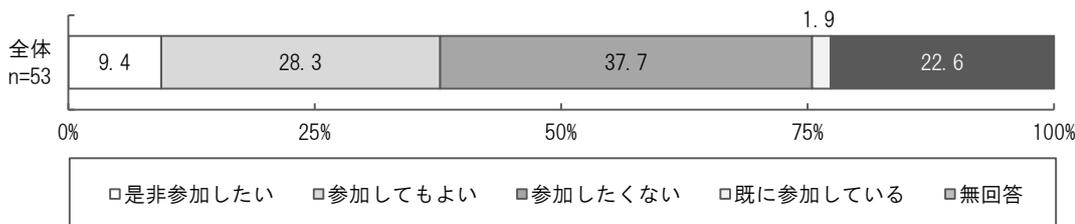


(2) 地域づくりに対する参加希望

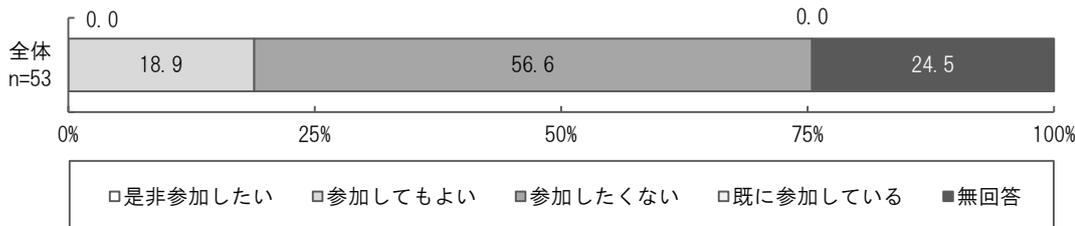
○健康づくり活動や趣味等のグループ活動に「参加してもよい」(28.3%)と「是非参加したい」(9.4%)を合わせた37.7%が参加者としての参加を希望している一方、「参加したくない」が約4割となっています。

○企画・運営としての参加希望は「参加してもよい」と回答した18.9%となり、一方、「参加したくない」が約6割となっています。

問5-(2) 参加者としてグループ活動等に参加してみたいか



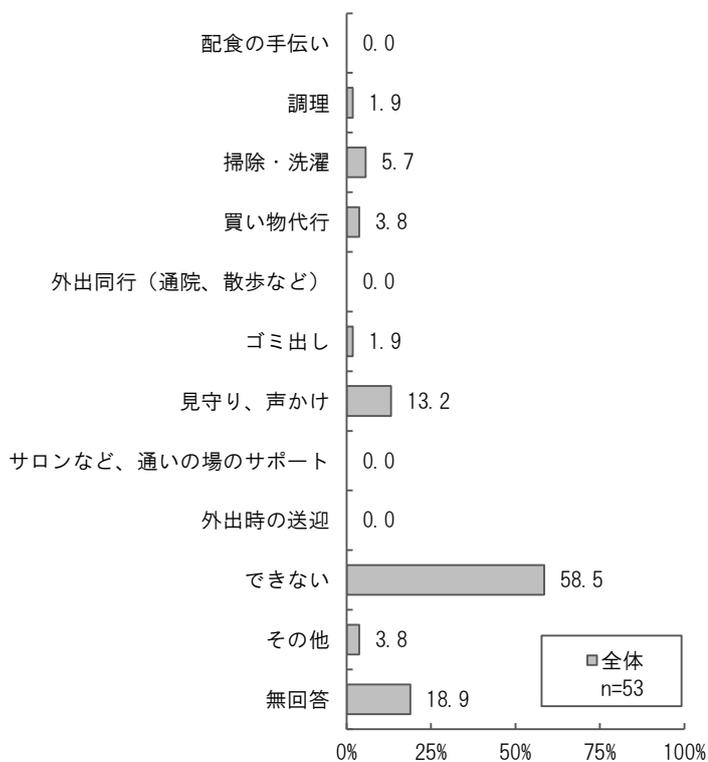
問5-(3) 企画・運営としてグループ活動等に参加してみたいか



(3) 地域でできる支援について

○地域でできる支援をみると、「見守り、声かけ」(13.2%)が最も高く、次いで「掃除・洗濯」(5.7%)、「買い物代行」(3.8%)、「調理」「ゴミ出し」(各1.9%)となっています。一方、「できない」は58.5%となっています。

問5-(4) 地域でできる支援



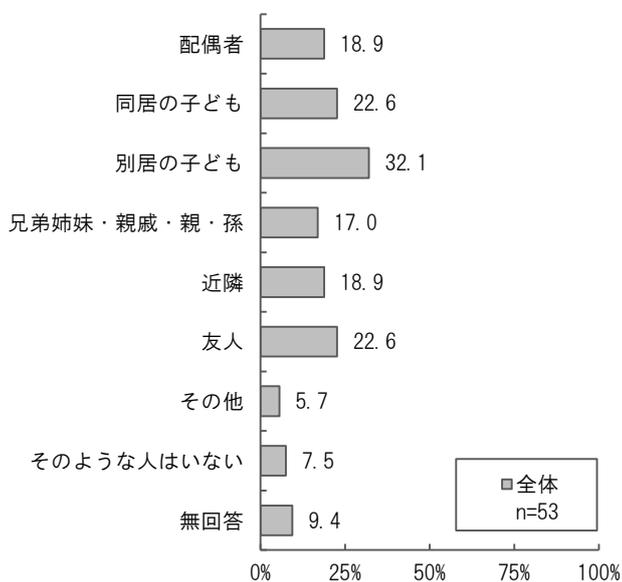
6 たすけあいについて

(1) 困った際に頼る相手または頼られる相手

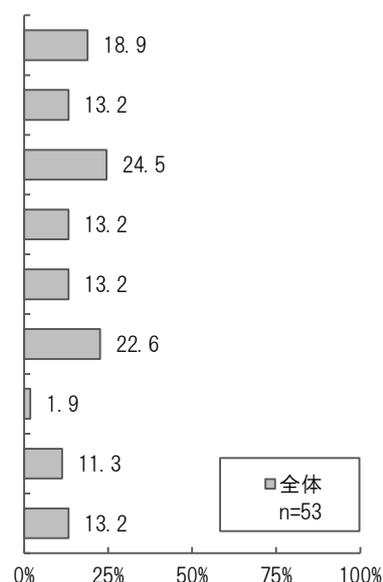
○心配事や愚痴（ぐち）を聞いてくれる人は、「別居の子ども」（32.1%）が最も高く、次いで「同居の子ども」「友人」（各22.6%）、「配偶者」「近隣」（各18.9%）となっています。一方、「そのような人はいない」は7.5%となっています。

○心配事や愚痴（ぐち）を聞いてあげる人は、「別居の子ども」（24.5%）が最も高く、次いで「友人」（22.6%）、「配偶者」（18.9%）、「同居の子ども」「兄弟姉妹・親戚・親・孫」「近隣」（各13.2%）となっています。一方、「そのような人はいない」は11.3%となっています。

問6-(1) 心配事や愚痴（ぐち）を聞いてくれる人



問6-(2) 心配事や愚痴（ぐち）を聞いてあげる人

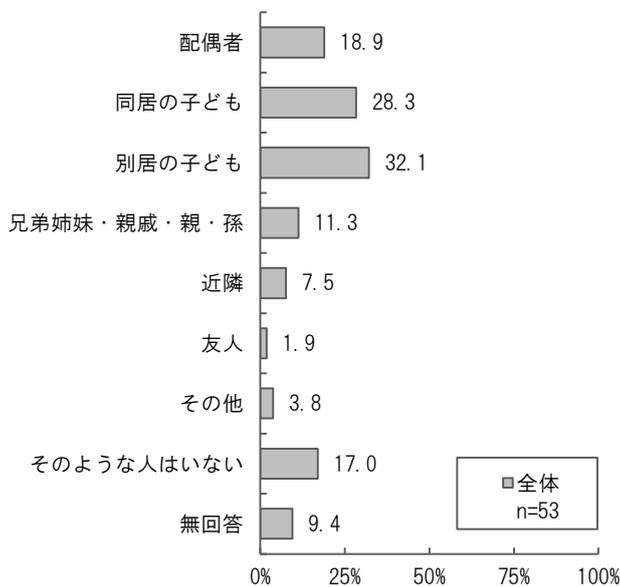


○病気で数日間寝込んだときに看病や世話をしてくれる人は、「別居の子ども」(32.1%)が最も高く、次いで「同居の子ども」(28.3%)、「配偶者」(18.9%)となっています。一方、「そのような人はいない」は17.0%となっています。

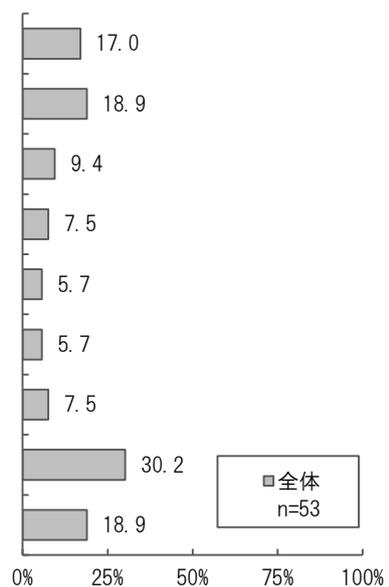
○看病や世話をしてあげる人は、「同居の子ども」(18.9%)、「配偶者」(17.0%)、「別居の子ども」(9.4%)となっています。一方、「そのような人はいない」は30.2%となっています。

○家族や友人・知人以外で何かあったときに相談する相手は、「ケアマネジャー」(41.5%)が最も高く、次いで「社会福祉協議会・民生委員」「地域包括支援センター・役場」「施設・デイサービス・ヘルパー事業所」(各26.4%)、「医師・歯科医師・看護師」(17.0%)となっています。一方、「そのような人はいない」は5.7%となっています。

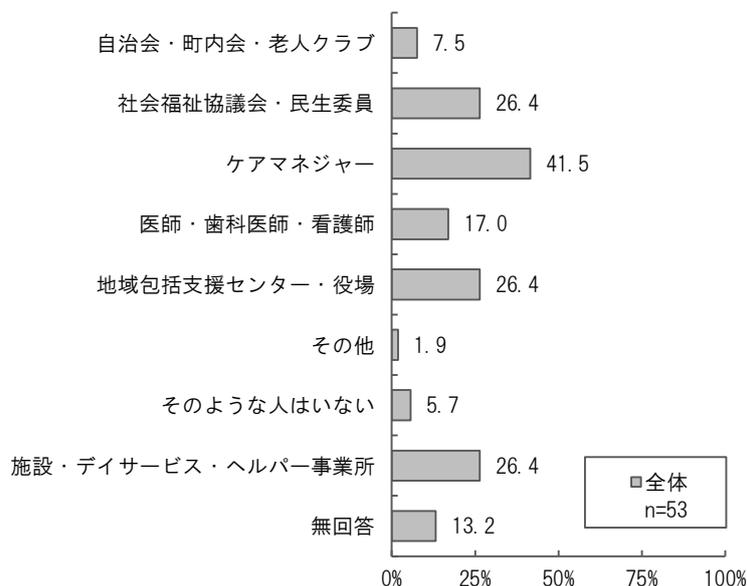
問6-(3) 病気で数日間寝込んだときに、
看病や世話をしてくれる人



問6-(4) 看病や世話をしてあげる人



問6-(5) 家族や友人・知人以外で何かあったときに相談する相手



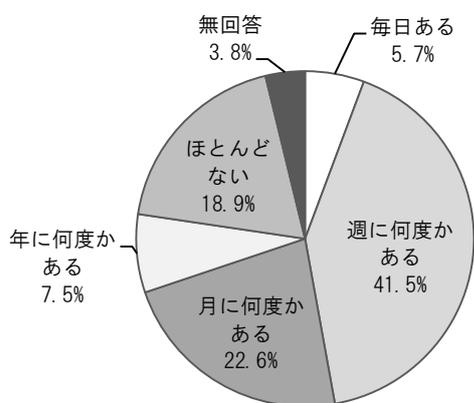
(2) 友人・知人との交流状況

○友人・知人と会う頻度をみると、「週に何度かある」(41.5%)が最も高く、次いで「月に何度かある」(22.6%)、「年に何度かある」(7.5%)となっています。一方、「ほとんどない」は18.9%となっています。

○1か月に会った友人・知人の人数をみると、「1～2人」(39.6%)が最も高く、次いで「0人(いない)」「3～5人」(各18.9%)となっています。

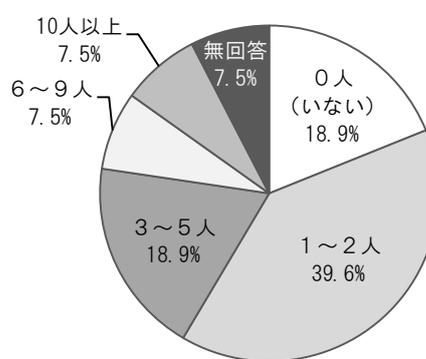
○よく会う友人・知人との関係は、「近所・同じ地域の人」(71.7%)が最も高く、次いで「趣味や関心が同じ友人」(13.2%)となっています。

問6-(6) 友人・知人と会う頻度



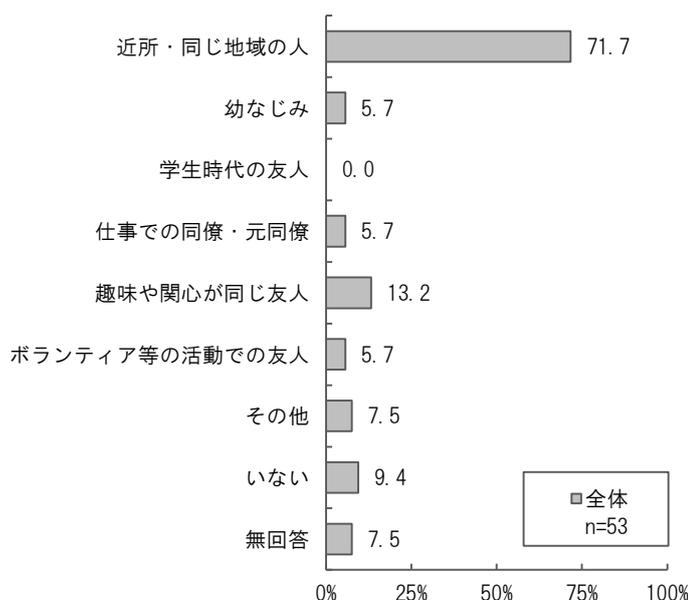
全体 n=53

問6-(7) 何人の友人・知人と会ったか
(最近1か月間)



全体 n=53

問6-(8) よく会う友人・知人はどんな関係の人か



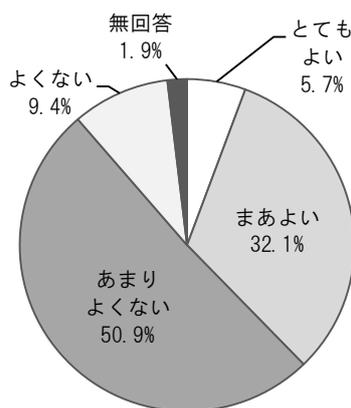
全体 n=53

7 健康について

(1) 健康状態

○現在の主観的健康感をみると、「まあよい」(32.1%)と「とてもよい」(5.7%)を合わせた37.8%が健康と感じていますが、「あまりよくない」(50.9%)が最も高くなっています。

問7-(1) 現在の主観的健康感



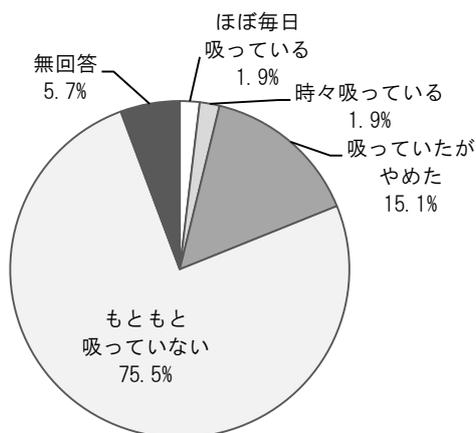
全体 n=53

(2) 疾病と喫煙や飲酒の状況

○喫煙の状況をみると、「ほぼ毎日吸っている」「時々吸っている」(各1.9%)を合わせた3.8%の方が喫煙者となっています。

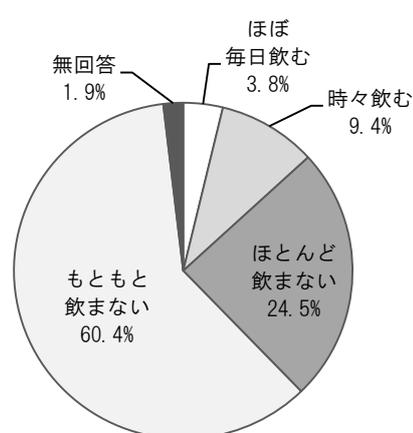
○飲酒の状況をみると、「時々飲む」(9.4%)と「ほぼ毎日飲む」(3.8%)を合わせた13.2%の方に飲酒の習慣があります。

問7-(5) 喫煙の状況



全体 n=53

問7-(6) 飲酒の状況

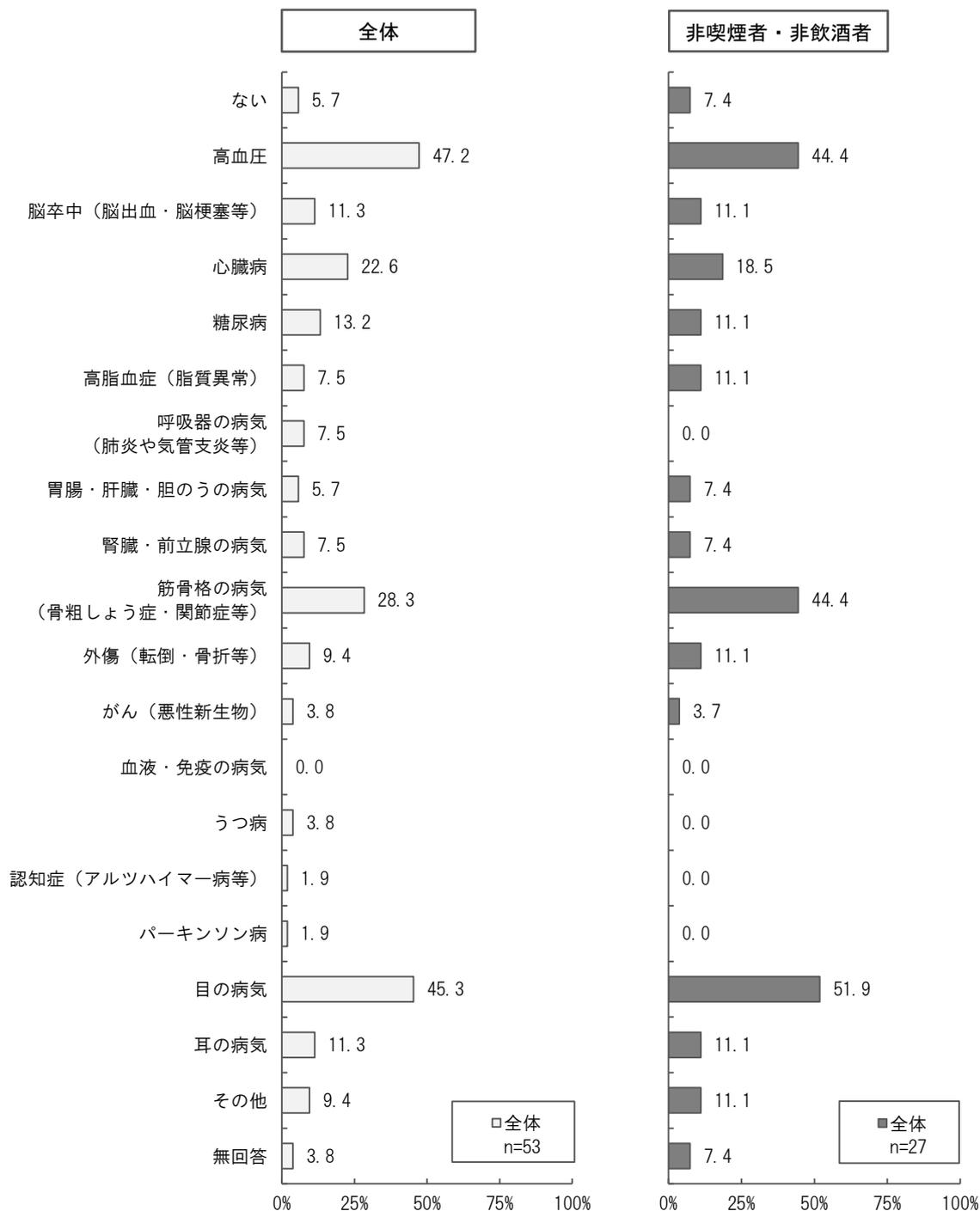


全体 n=53

○現在治療中、または後遺症のある病気をみると、全体は「高血圧」(47.2%) が最も高く、次いで「目の病気」(45.3%)、「筋骨格の病気(骨粗しょう症・関節症等)」(28.3%) となっています。

○また、非喫煙者・非飲酒者は「目の病気」(51.9%) が最も高く、次いで「高血圧」「筋骨格の病気(骨粗しょう症・関節症等)」(各44.4%) となっています。

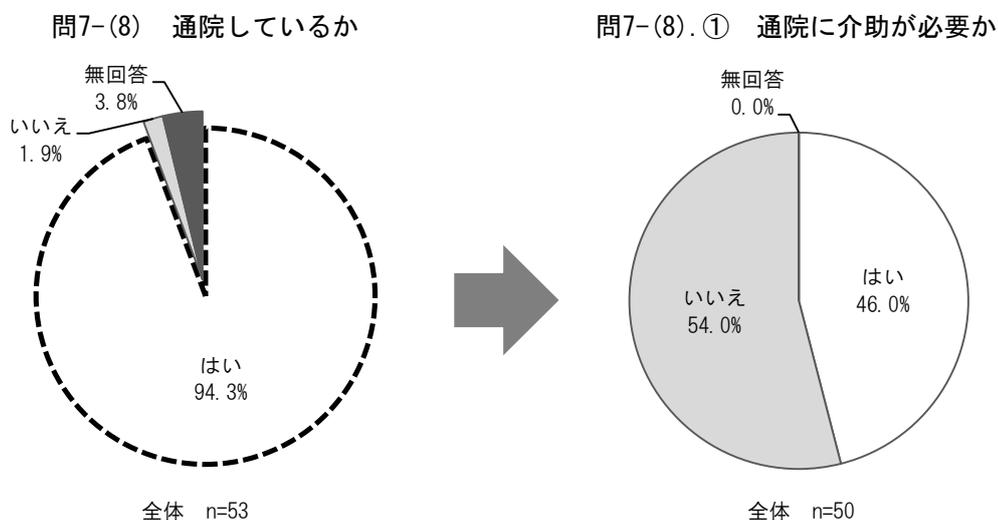
問7-(7) 現在治療中、または後遺症のある病気



(3) 通院の状況

○通院している方は94.3%となっています。

○通院している方のうち、通院に介助が必要な方は46.0%となっています。

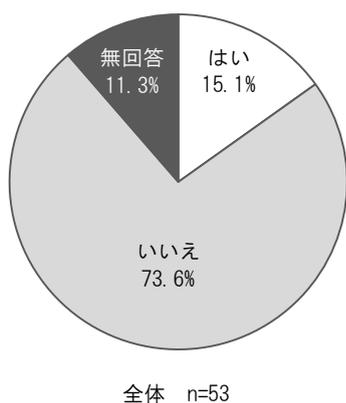


8 認知症にかかる相談窓口の把握について

○認知症の症状が本人または家族にあると回答した方は15.1%となっています。

○認知症に関する相談窓口を知らない方は52.8%となっています。

問8-(1) 認知症の症状がある、
または家族に認知症の症状があるか



問8-(2) 認知症に関する相談窓口を
知っているか

